

# 鳴滝小学校学校だより キヤツチボール

<http://www.wakayama-wky.ed.jp/narutaki/>

令和6（2024）年 12月号 TEL073-453-2315



## えっ!? もう12月!?

早いですね。夏から始まった2学期ですが、もう最後の12月になりました。冬到来です。つい最近まで「暑い、暑い」と熱中症に注意しながら、暑さ指数とにらめっこしていたのが嘘のようです。外国の方々は、日本のおいところの一つに「四季がはっきりしているところです。」と挙げてくれますが、最近はかなり夏が長く感じる（約半年間、半袖生活でした）と共に、気温の高さに参っているのは私だけでしょうか。実は私、冬の寒さが苦手です。が、身体的には夏の方が大変で倒れることもあり、今年は何度点滴を打ちに行ったかわからないくらいです。皆様は大丈夫でしたか。

また、毎年、気温が高くなっているように感じます。今年の夏も尋常な暑さではありませんでした。和歌山市では真夏日（最高気温が30度以上の日）は連続で89日もあったそうです。過去最高だと聞きました。連続ではない真夏日もありましたし、真夏日の中には、「猛暑日（最高気温が35度以上の日）」も含まれています。残暑も厳しかったので、教室にエアコンが完備されていて、本当に良かったと思います。

子供たちは夏の暑さにも負けずに元気いっぱいでした。冬も寒さに負けず、元気いっぱいに過ごしてくれることだと思います。

## 一人一人の成長を願って！！

私が小学生時代の通知表の担任の言葉の欄には「消極的である」「積極的でない」という言葉が毎回書かれていました。その頃は相対評価でした。

・「相対評価」は各評価ランクの人数が決められ、成績上位者から順番に決定していくという評価の仕方です。だから、「すごく頑張った」と自分では思っていても、なかなか評価につながりにくいです。

・「絶対評価」は、評価の基準があり、個人の学習到達度によって評価します。だから、個人の頑張りが評価につながります。2002年から「絶対評価」に変わりました。

子供の頃の私はかなり消極的でした。実は現在も内向型の性格は変わっていませんし、大人になってからの勉強も楽しいのですが、苦手意識からの脱出はなかなか難しいです。

だからこそ、保護者の方々の見守りがある今、子供たちに経験を積んでほしいと思います。例えば、忘れ物をしないことが一番ですが、人ですから忘れることがあります。忘れたことだけを伝え、あとは指示を待つ、のではなく、『どうしたい』まで考えて行動することが大切です。人は間違ったり失敗したりすることを恐れます。そうならないようにと保護者の方々が先回りしてしまうと、子供たちのもっている力を生かしたり、伸ばしたりすることができなくなってしまいます。これも『思考・判断・表現等』ではないでしょうか。そして、本校が考えている「生きる力」もあります。すぐに評価と結びつかなくても、いずれ様々な評価につながることは必然です。保護者の方々と共に、子供たち一人一人の成長を願って取り組んでいきたいと思います。



校長 篠本みゆき

(12月の主な予定)

日	曜	行 事	日	曜	行 事
2	月	スクールカウンセラー来校日	12	木	ファミリー読書
4	水	有功ブロック人権研修 いじめなくそうデー	16	月	スクールカウンセラー来校日
5	木	語りの森 ファミリーカーニバル	19	木	ファミリー読書
7	土	子どもセンター「バドミントン教室」	23	月	ALT 来校 給食終了 移動図書
9	月	移動図書	24	火	終業式

(1月の予定) \*6日(月) 3学期始業式 \*7日(火) 給食開始・身体測定

\*6日・20日(月) 移動図書館 \*25日(土) 子どもセンター「ドッジボール教室」

ありがとう集会 | 1月 | 6日 (土)

(1・2年)

(3・4年)

(5・6年)



(パンの販売)



地域の皆様、いつも子供たちを温かく見守っていただきありがとうございます。